

尹錫悦政権による外交政策の布石と 北東アジア安全保障情勢の展望

陳 嵩 堯

(台湾・中国文化大学韓国語文学系助理教授)

【要約】

本論文では尹錫悦政権が提起した外交・安全保障分野での議題の方向性、またそれに関する対応策を中心に、米中の戦略競争態勢に対処する中で韓国が外交政策について打っている布石、朝鮮半島の安全保障情勢が取り得る方向を整理する。尹錫悦の外交政策は、韓米同盟の深化、韓日関係改善、相互尊重を基礎とした韓中関係構築を核心とする。

まず、韓国は「韓米同盟」の軍事協力を強化するとともに米国の「インド太平洋戦略」での経済協力枠組み構築に対応し、韓米関係はさらに緊密化する方向にある。次に、尹錫悦は北朝鮮の脅威に基づき THAAD の追加配備を考え、「三つのノー」原則は合意や約束ではないと強調したことで、韓中関係は THAAD の問題が足枷となり打開が難しくなっている。このほか、尹錫悦政権は韓日首脳会談に向けた取り組みを行っており、歴史問題の中にある火種を解決する道を求めている。その一方で、韓国は北朝鮮の安全保障上の脅威を警戒し、韓米の軍事演習を再開して国防力を強化しており、対話を通じた人道支援と経済保障を提供することで北朝鮮を非核化に向けて説得する「大胆な計画」を提唱している。

キーワード：尹錫悦大統領、韓国の外交政策、アメリカのインド太平洋戦略、北東アジア地域の安全保障、米中戦略競争

一 はじめに

韓国では 2022 年 3 月 9 日に大統領選挙が行われた。文在寅政権の政治的成果が有権者に評価されなかったこと、投票日直前になって尹錫悦と安哲秀両候補の保守合同が発表されたこと、加えて非常な接戦であったこと、国民が考え方を改めて「地域エゴ」を打破するような投票を志向したことから、結果としては保守派「国民の力党」候補者の尹錫悦が 16,394,815 票（得票率 48.56%）を獲得、与党「共に民主党」候補・李在明（同 47.83%）を 1%に満たない僅差で破り、第 20 代大統領となった。5 年で政権交替を果たした尹氏の就任により、対外政策と北東アジアの安全保障情勢が今後どのようなようになるか注目される。

本論文では選挙期間中に提出した外交・安全保障分野での議題の方向性、またそれに関して大統領就任後にとった対応策を中心に、まず尹錫悦が直面する戦略的安全保障環境と外交政策への考え方、さらに米中の戦略競争情勢の中に身を置いている韓国が行うべき政策調整と朝鮮半島の安全保障情勢が取り得る方向を整理する。

二 米中戦略競争の枠組における尹錫悦政権の外交政策の方向と課題

2022 年 2 月 3 日に行われた大統領選テレビ討論会の中で、尹錫悦は当選したらアメリカ、日本、中国、北朝鮮の順に首脳会談を行うと述べた（Lee Haye-ah 2022）。アメリカのバイデン大統領は、尹錫悦が 3 月 9 日の選挙を僅差で制したのを確認すると、即座にホットラインを通じて祝意を伝えるとともに、自身の就任後初となる 5 月のアジア歴訪の際、日本に先立って韓国を訪問すると予告したため、尹錫悦は就任後最も早くアメリカの国家元首と会見した韓国

大統領となった（The White House 2022b）。

当選間もない3月11日、尹錫悦は韓米同盟再建、対日関係改善、相互尊重原則の基礎のもとでの対中関係構築を核心とする「四強外交」を再構築すると表明した（韓聯社2022a）。その後、韓国は「韓米同盟」を深化させる一連の軍事協力とアメリカの「インド太平洋戦略」での経済面での協力の枠組み構築に応え、関係強化を行っていった。韓国大統領の就任式にあたって、アメリカはアジアにおける核心的盟友である韓国を尊重していることを示すため、過去にも国務長官や国家安全保障担当補佐官など重要人物を派遣してきたが、5月10日に行われた尹錫悦の就任式ではカマラ・ハリス副大統領の夫ダグ・エムホフ氏が団長を務めた（Ji 2022a）。5月23日、「インド太平洋経済枠組み」設立式典におけるオンライン演説の場で、尹錫悦は初めて「安全保障はアメリカと、経済は世界と」の説を提唱する。アメリカとの緊密な安全保障分野での協力を強化するとともに、サプライチェーンと貿易の対中国依存度を低減させることで従来の「安全保障はアメリカと、経済は中国と」という路線から距離を置くことを試みるものであった。韓米関係は保守政権時代の外交政策を主軸とする方向になり、尹錫悦は韓米同盟はさらに深まり、いかなる時期よりも堅固なものになっていると絶えず強調している。また国会議員で日本語にも通曉した「アメリカ通」である朴振を外交部長官に任じた。韓米関係はさらに緊密となる趨勢となり、対日協力も「韓米同盟」がその推進の核心となる見通しである（恩地 2022；韓聯社 2022b）。

大統領選の結果が出た3月10日当日に習近平が祝電を送った以外にも、中国は積極的に韓国を取り込もうとしている。過去の就任式に代表として出席すべく派遣されたのは副総理レベルの人物だったが、今回は習近平国家主席の特別代表兼国家副主席という首脳

級の人物である王岐山が団長となって出席した（人民網 2022b）。王岐山は 9 年余ぶりに韓国の大統領就任式に出席した中国政府高官である（董鑫 2022）。2022 年の今年は韓国と中国による国交樹立からちょうど 30 年にあたり、新型コロナウイルスによるダメージを受け、速やかな振興の待たれる韓国経済はますます中国市場を軽視するわけにはいかない。韓中関係は、尹錫悦が選挙前に政策として、終末高高度防衛システム（Terminal High Altitude Air Defense、以下 THAAD）配備拡大を宣言したことによる、どんよりとした空気を振り払えるブレイクスルーを求めている。

米中両国が韓国の新しい指導者にしきりに友好の意を表するほか、日本も尹錫悦就任を意見の食い違いを解消するチャンスととらえ、両国関係改善に向けた態度をとっている。岸田首相はまず 3 月 10 日に尹錫悦の当選に祝意を述べ、関係改善のため協力できることを願う旨表明した（Kyodo News 2022a）。尹錫悦も翌日の岸田首相との電話会談の中で、双方が韓日友好促進のために協力して共に努力すべきであること、両国間に横たわる懸案事項を合理的に解決して双方の共通利益を合致させること、また韓米日三ヶ国が朝鮮半島問題における協力をさらに強化することを期待すると述べた（韓聯社 2022c）。

韓米は北朝鮮の核実験停止を引き出すため、2018 年から合同軍事演習・訓練の規模を縮小していた。その期間中に南北朝鮮「文・金会談」と米朝「トランプ・金会談」が滞りなく三回ずつ行われたものの、核弾頭搭載の ICBM や SLBM などの開発を中止させることには何の効果もなかった。「非核化」の議題により制限を受けて南北対話は膠着状態に陥り、アメリカも 2021 年 2 月に非核化を目標として北朝鮮と対話したいという希望を吐露したが、北朝鮮はいずれも「既読無視」を決め込み、ミサイル実験の頻度を高めていっ

た。2022 年に入ってから北朝鮮はミサイルの研究開発に 4 ～ 6.5 億ドルを費やしている。1 ～ 6 月にはこれまでの記録を破る 18 回・33 発のミサイル実験による軍事的挑発を行い、そのうち三回は 5 月の尹錫悦就任後立て続けに行われている。韓米は収集した情報をもとに、金正恩はすでに 7 回目の核実験の準備を終えたと理解している (Choi David 2022 ; Lee Jeong-Ho 2022) 。

三 尹錫悦政権による外交政策の布石と対主要国関係の推移

アメリカは 2022 年 2 月にバイデン政権版「インド太平洋戦略」を発表、韓日協力を促すことを核心的行動案とし、韓米日が北朝鮮問題に対応して緊密な政策協調を行うと強調している (The White House 2022a, 13) 。3 月 11 日、尹錫悦が駐韓アメリカ大使クリス・デル・コルソ (Chris del Corso) と会見した際も、5 月のバイデン大統領訪韓の際も、アメリカ側は韓日関係改善を表明し、インド太平洋地域の安全保障協力にとって極めて重要であると改めて述べた。韓日関係が雪解けに向かうか否かは、アメリカが「インド太平洋」における中国牽制のための連盟を安定させられるかだけでなく、尹錫悦政権が「韓米同盟」の基礎の上に日本との「日韓秘密軍事情報保護協定 (General Security of Military Information Agreement, GSOMIA) 」と北朝鮮の脅威に対応できる軍事安全保障協力を深化させ、絶えず高まり続けている北朝鮮の核の脅威を抑制できるかにも影響を及ぼす (申振宇、李尚勛 2022) 。

1 「インド太平洋戦略」の経済分野強化により協力関係がさらに緊密となった韓米

軍事協力分野での「韓米同盟」強化として、アメリカはトランプ政権からバイデン政権に到るまで、韓国に「クアッド（Quadrilateral Security Dialogue、以下 QUAD）」に加入し、中国対抗の輪に入るよう希望すると表明してきた。バイデンは 2022 年 5 月のアジア歴訪で韓国を訪れた際、韓米が「グローバルで総合的な戦略的同盟（Global Comprehensive Strategic Alliance）」関係にあることを確認したほか、尹錫悦に直接 QUAD 加入を呼びかけた。また韓米日が共通して抱える経済的挑戦に対応するためには三ヶ国による協力が重要だと改めて指摘した（The White House 2022 d）。もともと韓国がオブザーバーとして 5 月の QUAD 加盟国首脳会談に参加するという情報が流れていたが、大統領秘書室報道官・裴賢鎮が事実ではないと断言した（日経中文網 2022；韓聯社 2022e）。

韓国は QUAD 加入に慎重な姿勢を見せたものの、軍事面での参与を高めるという方法で応えた。5 月 31 日、韓国海軍は海兵隊 1 個中隊と特殊戦旅団 4 個、合計 1000 人にのぼる士官・兵士を出動させ、アメリカがハワイで行った環太平洋合同演習（リムパック 2022）に、それまでの最大であった 1991 年を越える規模の兵力を投入した（韓聯社 2022j）。6 月 29 日、尹錫悦は招請に応じて NATO 首脳会合に出席した。青瓦台が事前に厳粛かつ明確に説明したところによると、韓国は NATO 加盟国ではなく、首脳会合に出席したからといって反中政策に方向転換したわけでも、加盟国との集団防衛実現を謀議しているわけでもなく、「全面的な安全保障協力」を推進することを望んでいるということだった。

韓国はアメリカ主導の QUAD 参加と中国牽制を避けようとする

一方で、アメリカの「インド太平洋戦略」での経済面での協力事項には積極的に対応している。2022年2月11日、ホワイトハウスは新たなパートナー関係として「インド太平洋経済枠組み（Indo-Pacific Economic Framework、以下 IPEF）」を起ち上げ、「インド太平洋戦略（Indo-Pacific Strategy of the United States）」とすることを発表した。これはハイスタンダード貿易推進、デジタル経済の管理、サプライチェーンの強靱さと安全性を上げることなどを通じて、透明性があつてハイスタンダードな関連投資、さらなるデジタルリンク構築計画を行い、インド太平洋地域諸国の経済関係を強化するということである（The White House 2022a, 11）。4月6日、アメリカ商務省は IPEF の具体的な政策をすでに日本・シンガポール・マレーシア・ニュージーランド・韓国・インドと討論中であり、今後各段階の行動案を通して一步一步形をとってくと表明した（The White House 2022f）。尹錫悦政権も5月16日に国会における初の施政方針演説で、バイデンとの首脳会談で IPEF とグローバルサプライチェーンにおける協力強化を話し合うという肯定的な反応をしている（韓聯社 2022i）。5月23日、バイデンは正式に IPEF 起ち上げを宣言した¹。6月11日、アメリカ通商代表キャサリン・タイ（Katherine Tai）は韓国を含む13ヶ国の貿易パートナー

¹ 2022年5月、バイデンの訪韓の期間に、韓国の大企業はさらに総額約4700億ドルの投資計画推進を発表した。その内訳は、サムソンによる、今後5年以内の半導体チップ、バイオテクノロジー、人工知能（中国語は「人工智慧」）および次世代型通信などの新興産業向け投資3600億ドル。また現代自動車による、米ジョージア州でのEVと専用バッテリー工場建設に見込まれる投資55億ドル、その他ロボット、自動運転ソフトウェア（SW）、アーバン・エア・モビリティ（UAM）、AI（中国語は「人工知能」）などの分野への投資計画総額105億ドル、ハンファによるソーラーパネル部品製造工場のための対米投資1.6億ドルなど（The White House 2022c ; 2022e）。

を招き、非公式協議を開催した（Office of the United States Trade Representative 2022）。IPEF はバイデン政権が主導するインド太平洋戦略の中心的なメカニズムであり、それに加えて近年 QUAD でも少しずつインダストリアルチェーンが協議の議題に入っているようになっているので、韓国は今後地域経済協力の枠組みを通じてアメリカと地域安全保障の問題を協力・解決していくことで、インド太平洋地域における経済分野での参加範囲が拡大することが見込まれる。

2 「歴史問題」をめぐる積年の遺恨から一朝一夕の雪解けが困難な韓日

かつて李明博政権は、政権発足の当初は「任期中に歴史問題で争わない」と宣言、韓日関係は良好なスタートを切ったが、独島（竹島）の主権問題をめぐって再び悪化した。朴槿恵・文在寅時代には歴史と外交の問題を分離して処理する「ツートラック」戦略が試みられたが、文在寅と安倍晋三とは実務協議での立場が全く異なったため、敵対的に向き合うこととなった。アメリカは文在寅政権で日韓が和解し、調和して共に中国牽制に協力するよう力を尽くしたが、日本による対韓半導体原料輸出規制、自衛隊偵察機の低空飛行に関する問題、（独島あるいは竹島における）領土問題、さらに歴史問題（従軍慰安婦と徴用工）がこじれたことで制約を受けた。文在寅は 2021 年の東京オリンピックに合わせて訪日し、当時の菅義偉首相と会談して意見の相違を解消しようとしたが、駐韓外交官による「外交上礼を失した」発言が問題となり、雪解けの機会は失われた（韓聯社 2021a）。

インド太平洋において中国に対抗する行動の程度に関しては、韓日で違いがあるが、アメリカは北朝鮮政策について米韓日三者が一致した立場をとるよう力を尽くし、日韓が協力して事に当たる

ための協調を強化している。2022年6月8日、趙賢東・韓国外交部第一次官はアメリカ国務副長官ウェンディ・シャーマン（Wendy Sherman）、日本の森健良外務次官とソウルで会見し、北朝鮮によるミサイル試射は「重大かつ不法な」挑発であり、7回目の核実験を強行すれば米韓および国際社会は必ず速やかかつ強力に対応するとの共通認識に到った。6月11日、李鐘燮・韓国国防部長はシンガポールで行われた第19回「シャングリラ対話（Shangri-La Dialogue）」に出席、ロイド・オースティン（Lloyd Austin）・アメリカ国防長官、岸信夫防衛大臣と防衛担当閣僚会談を行い、朝鮮半島非核化と対北朝鮮制裁の維持を確認、また北朝鮮による弾道ミサイル発射への三者連合通報メカニズムの強化について話し合った（Japan Ministry of Defense 2022）。また翌12日には「シャングリラ対話」での演説で、韓国軍の対応能力を強化し続け、韓米日三ヶ国の安全保障協力により北朝鮮の核・ミサイルの脅威に対処していくと改めて述べた（Lee Jong-Sup 2022）。

しかし尹錫悦政権にしてみると、実質的な改善と「未来志向」の韓日関係を推し進める第一歩を踏み出せるかどうかは、双方が国際的な場で効果的な連携を見せ、さらに進んで首脳会談を行い、歴史問題を含めた争いの火種を解決するメカニズムを追求できるかどうか次第である。時が経てば事情も変わる。岸田文雄は外相であった2015年に「韓日従軍慰安婦問題協議」の全日程に参加しており、尹錫悦も歴史問題を正視すると同時に未来志向の韓日関係を築けることを願うと表明、双方の首脳が同協議の精神を重視しそれに誠実であろうとすれば、韓日関係にも改善の機会が訪れるかもしれないと述べている。2022年4月26日、就任前の尹錫悦は鄭鎮碩・国会副議長を団長とする「韓日政策協議代表団」を日本に派遣し、韓日関係改善を希望する旨の親書を岸田首相に手交し、問題解決に向け

た共通認識を求めた。韓国側は「21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ共同宣言」の精神が続き、歴史問題を正視すると同時に、未来志向の関係を構築できるよう希望すると表明し、また外交努力を通じて、2015年の「韓日従軍慰安婦問題協議」の基礎に立って双方の受け入れられる解決策制定を追求していくと述べた（韓聯社 2022g）。6月29日、岸田文雄は NATO 首脳会合の期間中、招待されていた尹錫悦と両国関係改善について短時間言葉を交わした（廖禹揚 2022）。7月12日、尹錫悦は自ら駐韓日本大使館に赴いて安倍晋三元首相の逝去に哀悼の意を表し、さらに韓徳洙首相、鄭鎮碩・国会副議長と国会議員重鎮からなる使節を慰問のため日本へ派遣、関係改善に向けた善意の基盤を積み重ねた（金珍鎬、張襄如 2022）。日韓双方の民意にも楽観的な材料がある。「読売新聞」と「韓国日報」が 2022 年 5 月に行った世論調査によると、将来の日韓関係が改善すると考える人が両国とも 2021 年より多くなっており（日本は 14%から 31%に、韓国では 29%から 53%に増加）、尹錫悦が両国首脳の対話を再開し関係改善を探るフリーハンドを得るのに役立つであろう（The Yomiuri Shimbun 2022）。韓日関係改善に向けた動きは、現段階では尹錫悦政権の支持率低迷により制約を受けているし、対日関係改善のために過度に譲歩すべきではないとの声が国内であがっているのに加え、歴史と主権の問題に関して長期にわたり積み重ねられてきた恩讐があり、一朝一夕に雪解けに向かわせることは難しいかもしれない。

3 THAAD 配備問題で制約を受け停滞する韓中関係

1992 年 8 月の韓中国交樹立後、両国関係の位置づけは「協力パートナー関係」から「全面的な協力パートナー関係」に発展し、さ

らに「戦略的協力パートナー関係」へと高められた。中国は 2012 年から韓国にとって最大の、また韓国も中国にとって第三位の貿易相手国となり、これが中国の手持ちのカードを大幅にレベルアップさせ、韓国への経済的影響力を増大させたが、一方で韓国も、中国向けの投資を徐々に ASEAN 市場へ移し始めた (Kim Heung-Kyu 2022)。また 2018 年 3 月に勃発した米中貿易戦争²、新型コロナウイルスの感染拡大³などの要素が影響し、多くの韓国企業は中国支店を減らすか、あるいは中国から撤退し、他のアジア諸国市場への移転を余儀なくされた (Kim Heekin 2022)。

当時の文在寅政権は、THAAD 問題による韓中間の政治経済へのショックを緩和するため、2017 年 10 月 30 日、康京和外交部長官が国会で質問を受けた際、「THAAD の追加配備を行わない、アメリカのミサイル防衛システムに加入しない、米日韓軍事同盟を結成しない」という「三つのノー」原則を提出した。11 月 2 日になると外交部は、康京和の発言は「立場を明確に述べた」ものであり、

² 韓国・国際経済政策研究所 (KIEP) の 2021 年 10 月の研究報告の指摘によると、米中貿易戦争が韓国の産業にもたらした経済的損失は 3.9 兆ウォンにのぼり、そのうちアメリカの追加関税により、韓国の対米中輸出額は 7.6 ～ 13.6 億ドル減少したという。このほか、中国の関税化は 2.15 億ドル、アメリカの関税化は 16.15 ～ 30.4 億ドル、韓国の工業生産額を引き下げたという (Jung 2021)。

³ 韓国経済は輸出主導なのだが、新型コロナウイルスの感染拡大がピークに達して全世界の貿易にダメージを与えていた際、韓国貿易投資振興公社 (KOTRA) の報告によれば、同国の対中輸出額は 2020 年 1～6 月で 614 億ドルであり、前年同期比で 6.4% 落ちた。韓中両国間の貿易は新型コロナウイルスの影響を受けてはいるが、2020 年上半期はマスク・衛生用品・衣服について中国からの対韓国需要が強かった。加えて北京がハイテクノロジー産業への投資を拡大したため、半導体や、その他電子部品の輸出量による寄与から、韓国の輸出面での対中依存度は下がるどころか 25.5% と、2019 年の同時期より 0.4% 上がった (Yonhap News Agency 2020)。

「言質」ではないと改めて表明した（金真明 2017）。同年 11 月、中国の王毅外交部長と康京和は会談の席で再度「三つのノー」原則を確認し、中国の了解と引き換えに両国関係は行き詰まった（中華人民共和国外交部 2017）。文在寅は習近平の任期内の訪韓実現に積極的に取り組んだが、良い反応は得られなかった。

上述した THAAD による隙間風がやまない中、文在寅政権との差別化を図るため、尹錫悦は選挙前に相互尊重の基礎に立つ対中外交政策を打ち出し、「韓米同盟」と北朝鮮の脅威に対する安全保障上の懸念を強調、THAAD の追加配備を考えているとした。2021 年 7 月 14 日、尹錫悦は韓国「中央日報」との単独インタビューに応じ、「THAAD 配備は国家主権の行使であり、中国がそれを撤去してほしいのなら、まず我が国との国境に配備している長距離レーダーを撤去すべきだ」と述べ、「また、国際協力という大きな枠組みの下で対中外交を展開してこそ、平等な外交関係を築くことができる」と強調した（玄日勳 2021）。翌日、駐韓中国大使・邢海明は「中央日報」への投書で反論、アメリカによる韓国への THAAD 配備は中国の安全保障上の利益と中韓の戦略的相互信頼関係を大きく損なうものであるが、中国のレーダーは韓国にとって脅威となることはあり得ないと述べた。また中韓は政治的相互信頼関係をさらに一段と強化し、実務協力の深化と人的・文化的往来を増やすべきであると指摘した（邢海明 2021）。尹錫悦は 11 月 12 日、韓国は米日と軍事面での協力をさらに深めると表明し、THAAD のさらなる追加配備にオープンな態度を見せた（Park 2021）。

2021 年 11 月、中国は石炭価格の値上げと電力不足から尿素の輸出規制を敷き、自動車用の尿素の 7 割以上を中国からの輸入に頼っている韓国の物流・運輸業界は重大な影響を受けた。それに加えて中国から輸入する塩化カルシウムの価格も上昇したことも、韓国の

インダストリアルチェーンに間接的にダメージを与えることとなった（金榮培 2021；孫海容、金南俊、朴炯洙、鄭英教 2021）。11月19日、尹錫悦は「国民の力」党本部で邢海明と会見し、大統領当選後は韓中関係の発展に力を尽くすと述べ、双方ともセンシティブな THAAD の話題は避け、韓中間の経済・貿易を密にすることを強調した（韓聯社 2021b）。その後選挙活動が熱を帯びてくると時を同じくして米中戦略競争が激しさを増し、さらに北京冬季オリンピック・男子スピードスケートにおいて韓国ショートトラック選手が規定違反をとられ失格となる事件が発生、また同大会の開幕式に朝鮮族がチマチョゴリで参加し、それと合わせて中国で「キムチは中国発祥」との国際規格承認の申請により物議を醸したことは、韓国市民（特に 20～30 歳の若年層）に激的な「反中」⁴感情を呼び起こした（Choi Hyun-june 2022；Jo He-rim 2022）。この高まる「反中」世論に応えるべく、選挙期間中の尹錫悦は対中政策で強硬な態度を見せた。1月30日には Facebook で THAAD 追加配備を提唱、また中国人を例に挙げて外国人による健康保険給付制度悪用の問題を解決すると述べた（尹成璿、南秀鉉 2022）。2月8日には『フォーリン・アフェアーズ』において実名で外交政策を説明、中国との関係を改めて位置づけ、新たな中韓協力関係は相互尊重を前提とし、政治面での意見の相違を経済問題に及ぼさないという原則のも

⁴ 韓国「ハングクリサーチ（Hankook Research）」とニュース雑誌『シサ IN（Sisa IN）』が 2021 年 6 月に共同で行った世論調査結果によると、調査対象者 1000 人のうち 58%以上が中国が「悪い国になろうとしている」と考えており、「良い国になろうとしている」と考える人はわずか 4.5%だった（Choe 2021）。韓国「中央日報」とソウル大学校アジア研究センターが 2021 年 11 月～12 月に共同で行った世論調査結果によると、韓国の 20～30 歳の年齢層で中国に好感を抱かない人は 63.5%で、全年代の平均値を 9.7%上回った（尹成璿、南秀鉉 2022）。

とに進められるべきであり、安全保障上の核心的利益では決して妥協しないと述べた (Yoon 2022)。2月24日、尹錫悦の外交政策顧問で国家安保室長の金聖翰は、尹錫悦による THAAD 追加配備表明は、他にもない北朝鮮の脅威に対応するための国家安全保障上の考えに基づくものであると強調、これを不服とした中国による新たな経済的報復を引き起こすことになったとしても、韓中関係を「仕切り直し (リセット)」する良い機会であるとした。尹錫悦政権は米中との外交で「戦略的あいまい」政策はとらず、THAAD の「三つのノー」政策も踏襲しないが、中国とは定期的な安全保障対話を行い、その席で北京の疑念を晴らすため、THAAD のレーダーは中国に向けたものではないと説明を行っている (Shin Hyonhee 2022)。

大統領選後の尹錫悦政権は実務外交に回帰し、韓中関係進展に関わる微妙な問題である THAAD についても慎重な姿勢に転じており、「慎重に評価する」と言い方を改め、文在寅時代に中国向けに発表した「三つのノー」原則を続けることはないことを強調するに留めている。両国は外交部門を通して舌戦を展開しており、中国は韓国に約束を重視するよう要求しているのに対して、韓国は「三つのノー」は両国の合意ではないと指摘するのみであり、新たなスローガンも論説も出していない。当選翌日の3月11日、尹錫悦が邢海明と会見した際、邢海明は習近平の祝電を手交したほか、韓中のリーダーが両国の各分野で交流・協力を深化・発展させるべきであると述べた。尹錫悦は、韓国国民は中国が責任を負う大国となることを希望すると応じた (人民網 2022a ; 韓聯社 2022a)。邢海明は4月8日、中韓関係は THAAD 問題をめぐって一度はどん底に落ちたが、両国が共に努力したおかげで正しい軌道に戻った、ただ完全にその影から脱してはいないので、どちらも同じ轍を踏んではならないと指摘した (韓聯社 2022d)。5月3日、韓国外交部長

官・朴振は国会・外交統一委員会が実施した人事公聴会において、尹錫悦政権の THAAD 追加配備に関する立場を問う金榮珠議員の質問に答え、THAAD 配備は首都圏の防空網を強化するために出された提案であるが、慎重に考慮し、安全保障問題のために経済にマイナスの影響を引き起こすことを避ける必要があると述べた（金承炫 2022）。7月25日、朴振は、韓中の間には明らかにコミュニケーション、相互信頼、戦略対話が不足している、THAAD 配備は韓国の安全保障上の主権に関わる問題であり、文在寅政権で出された「三つのノー」原則は立場の説明に過ぎないものであって中国への約束ではなく、両国間の合意でもない、中国側がこの原則を根拠に韓国側に約束を履行するよう要求するのは受け入れがたいと述べた。また中国は韓国にとって最大の貿易相手国であり、中韓関係はさらに健全で成熟した状況のもとで発展するべきで、中国は北朝鮮が絶えず核の脅威を高めている状態のもとで「三つのノー」政策を主張すべきではなく、北朝鮮の非核化実現に向けた建設的な影響力を発揮するべきであると指摘した（韓聯社 2022q）。7月27日、中国外交部スポークスマン趙立堅は、アメリカによる韓国への THAAD 配備に反対する立場は韓国に向けたものではないが、隣国の安全保障に関わる敏感な問題なので、韓国側は慎重に事をなすべきであると述べた。また「新任の役人だからといって古い帳簿を見ないでいることは許されない」という言葉を使い、およそ対外政策は基本的な連続性と安定性を保持するべきであると強調、尹錫悦政権に韓中の相互信頼を重視し、国内政治の必要のために「三つのノー」政策を捨てるべきではないと呼びかけた（中華人民共和國外交部 2022）。翌28日、朴振は国会で回答、「三つのノー」政策は両国間の合意でも中国への約束でもないと改めて指摘し、THAAD 配備の問題は他でもなく、日増しに高まる北朝鮮の核の脅威に直面す

る中での、韓国自身の安全保障上の主権に関わる核心的な職務であると強調した（韓聯社 2022r）。また 8 月 9 日、中国外交部長・王毅の招請に応じて青島で会談を行った朴振は、韓中関係の円滑な発展のため、中国は韓国の THAAD 配備による主権と安全を尊重するべきと改めて述べた（韓聯社 2022s）。さらに 9 月 16 日、栗戦書・中国全人代常務委員長とソウルで会談した際、尹錫悦は THAAD システム配備の一事に焦点を合わせ、韓中両国は緊密なコミュニケーションを保つべきであると指摘した。栗戦書は、両国はこの敏感な問題に関して密接なコミュニケーションをとる必要があると賛意を示すにとどまった（韓聯社 2022t）。

4 「相互的信頼の不足」から行き詰まる南北朝鮮関係

2022 年 4 月 16 日、尹錫悦就任前の間隙を突いて、また韓米による上半期合同指揮所訓練（Combined Command Post Training, CCPT）への抗議として、金正恩は新型の戦術誘導ミサイル 2 発を発射した（韓聯社 2022f）。北朝鮮の挑発にあたって、4 月 25 日に『ワシントン・ポスト』の単独インタビューを受けた尹錫悦は、北朝鮮問題に対しては硬軟両様の「ツートラック・アプローチ」をとると述べた。北朝鮮による ICBM 開発凍結の履行破棄と極超音速ミサイル試射という行いは、すでに朝鮮半島の核の態勢にとって重大な脅威となっており、韓国の安全保障に対する主敵であるため、大統領就任後は韓米合同軍事演習を再開し積極的に国防のための備えを強化していくとした。一方、北朝鮮が核の脅威を絶えず高めていることに対しては、韓国は一貫して対話のチャンネルをオープンのまま保っており、もし北が国際規範に則って着実な非核化と核査察受け入れを行えば、人道主義的な援助を提供する用意があると語っ

た (Kim Min Joo 2022)。5 月 10 日の就任演説では改めて「持続可能な平和の追求」を掲げ、韓国は対話を開放し、北朝鮮核問題の平和的解決に向けできる限り努力していくと表明した。北が核兵器開発をやめ非核化を実現すれば、韓国は国際社会と共に経済状況改善と国民生活の品質向上を支援するとも述べた (韓聯社 2022h)。

まず「ツートラック」の「硬」の面であるが、韓国は積極的に米日との合同軍事演習の規模を強化して国防戦備のレベルを上げている。2022 年 4 月 7 日、尹錫悦は平沢にある在韓米軍司令部 (キャンプ・ハンフリーズ) を訪問して米韓連合司令部司令官ポール・ラカメラ (Paul LaCamera) と会見、北朝鮮の脅威に対処するため、韓米による恒例の軍事演習を速やかに再開し、規模を引き上げるべきであると述べ、「拡大抑止手段」机上演習 (Tabletop Exercise, TTX) の重要性を強調した (Yonhap News Agency 2022)。5 月 21 日の尹・バイデン会談における共同宣言では、韓米が共同防衛条約を基礎とした連合防衛態勢構築を達成、また「拡大抑止戦略協議体 (Extended Deterrence Strategy and Consultation Group, EDSCG)」⁵ を再稼働し、韓国の抑止手段に対するアメリカのコミットメントを拡大した。「韓国が北朝鮮の核攻撃の脅威に直面するにあたり、アメリカは朝鮮半島に同国の戦略資産を展開する (deploy strategic U. S. military assets) ことにより、韓国に防御手

⁵ 「拡大抑止」は、アメリカが核の脅威や攻撃にさらされた同盟国に提供する「核の傘」のことを指す。韓米は 2016 年 10 月 19 日に外交・国防担当者の 2 プラス 2 会議を開いて「拡大抑止戦略協議体 (Extended Deterrence Strategy and Consultation Group, EDSCG)」設立を決定、アメリカによる韓国への「核の傘」提供などの関連事項を討論した。2017 年 9 月 5 日、アメリカ国務省は韓米が毎年「拡大抑止戦略協議体 (EDSCG)」を開き、北朝鮮の脅威への対処案について討論した (U. S. Department of State 2016; 2017)。同協議体は 2018 年 1 月に二回目の会議を行った後、南北朝鮮関係の改善を理由に停止されていた。

段を提供する」(The White House 2022d)。これに基づき6月3日、韓米が選んだ沖縄沖の国際海域上で、アメリカは原子力空母レーガンも出動させ、防空・対艦・対潜・海上封鎖作戦を演習項目とする合同軍事演習を行った(Kim Tong-Hyung 2022)。翌4日、尹錫悦就任後初めての軍事演習が終わって間もなく、北朝鮮は日本海に向け8発の短距離弾道ミサイルを発射し、韓米合同演習への不満を表した。韓米は6月7日、共同でF-35A戦闘機20機を出動させ、韓国西部の海域上空で武力を誇示し8発のミサイルを発射。米日の戦闘機も同じ日に日本海で合同空軍演習を行い、平壤に対する抑止体制を見せつけた(Kyodo News 2022b; The Defense Post 2022)。6月8日、尹錫悦政権は「韓国型三軸システム」⁶の軍事力を増強、南北和解を推進する局長級機関「対北政策官」を廃止のうえ「防衛政策官」を新設し、北朝鮮との衝突に対処するメカニズムの作戦指揮体制をさらに高めた(韓聯社 2022k)。6月11日には李鐘燮・韓国国防部長が「シャングリラ対話」に出席して米日の防衛担当大臣たちと会談、引き続き三者の安全保障面での協力を行っていくこと、定例の軍事演習を公開で行って北朝鮮の核の脅威に対応していくことで合意した(Ji 2022b)。李鐘燮は7月22日、尹錫悦に報告書「新政権の国防政策の方向と推進課題項目」を提出、2018年6月のトランプ・金正恩会談以来中断していた韓米合同軍事演習と連隊以上の規模の野外実動機動演習を再開させた(韓聯社 2022o)。

このほか、北朝鮮により絶え間なく引き上げられる脅威への対

⁶ 「韓国型三軸システム」は軍事力増強を指し、北朝鮮のミサイル発射装置を叩く「キル・チェーン(Kill Chain)」、ミサイル迎撃を行う「韓国型ミサイル防衛システム(KAMD)」、北朝鮮の指揮本部を叩く「大規模打撃報復作戦計画(KMPR)」が盛り込まれている。

応能力付与と韓米の戦略対話を行うため、李鐘燮は 7 月 29 日、ワシントンでオースティン米国国防長官と会見し、規模を拡大した合同軍事演習と、政府の即応能力のための「乙支フリーダム・シールド」合同軍事演習を 2022 年下半期に行うことで合意した（The Korea Times 2022）。その席ではまた、9 月に「拡大抑止戦略協議体（EDSCG）」を、年末前に「拡大抑止手段」机上演習（TTX）を行うことも計画された（尹相虎、文炳基 2022）。

次に「軟」の面であるが、韓国はアメリカの対北制裁に同調しながらも、対話を行いたいという善意も発信している。5 月 13 日、韓国外交部長官・朴振とアメリカ国務長官ブリンケンは電話会談を行い、改めて北朝鮮には対話のチャンネルを開いており、共同で非核化への「原則に則った堅実な（principled and consistent）」対話を推進していくと述べた（KBS World 2022a）。5 月 23 日、尹錫悦はアメリカ CNN とのインタビューで、文在寅政権でとられた宥和（appeasing）政策は、一時的には北朝鮮の挑発や衝突を回避できたが、同国が核兵器を増強していることは国際社会の平和を維持するのには不利であり、朝鮮半島が共に繁栄するところを見られることを希望する、南北朝鮮が対話を再開できるかどうかは金正恩の選択にかかっていると述べた（Yeung, Hancocks and Seo 2022）。6 月 16 日、朴振は訪問先のアメリカでブリンケンと会談し、韓米が同盟として緊密に協力して北朝鮮問題に対応する方針を改めて述べるとともに、「拡大抑止戦略協議体（EDSCG）」再開で合意に達しはしたが、両国とも北朝鮮の対話には柔軟でオープンな態度を保っていると表明した（韓聯社 2022i）。7 月 13 日、権寧世・韓国統一部長官は北朝鮮の非核化と南北関係改善を着実にを行うための「大胆な計画」の実質的な内容を策定すると表明した（韓聯

社 2022m) ⁷。7月21日、朴振は「大胆な計画」には北朝鮮に対する国連安保理制裁決議を確実に実行することも含まれていると述べた。もし北朝鮮が核実験を行うか挑発をしかけてくれば、韓国は安保理に新しい制裁案を提案するほか、単独制裁も行う。その一方で韓国外交部は、非核化に向けた対話を推進し続け、人権状況改善と人道的援助において国連と協力していくため、南北とアメリカの間の連絡事務所を設立した（韓聯社 2022n）。同日、韓国国家情報院長・金奎顕が訪米し、伝えられるところではアメリカ国家情報長官（DNI）アブリル・ハインズ（Avril Haines）、CIA 局長バーンズ（William J. Burns）と相次いで会見し、北朝鮮が7回目の核実験を行う可能性とそれへの対処案の評価を行ったという（朴玄英、鄭英教 2022）。権寧世は7月27日に『韓国中央日報』とのインタビューで、「大胆な計画」の根本精神は対話を通じたコミュニケーションであり、北朝鮮の抱く安全保障上の疑念を解消して同国が非核化を行う意志を示すなら、韓国も大胆にそれを援助すると協調した。権寧世は北朝鮮と「柔軟な」対話と協議の弾力性を保持したい、ただし韓国政府は北の言葉と軍事行動による威嚇を受け入れないという原則は依然として堅持しており、ひとたび武力を発動すれば韓国は断固たる対応をとると改めて述べた。それと同時に、人道的な医療・食糧支援やそれに関連する問題については、通知があれ

⁷ 権寧世の提出した「大胆な計画」は、北朝鮮による実質を伴う非核化措置に基づいて、段階的に貿易による利益と安全保障を与えることに重点を置いている。統一部は北の核問題に対して「核放棄なくして補償なし」または「一度での解決」を求めず、核放棄の成否に左右されない安全保障協力を追求する。統一部は「核のない、平和で、繁栄した朝鮮半島」を実現するための三大原則を提唱した。（一）北朝鮮によるいかなる軍事的挑発も容認せず、一方的な現状変更に反対する（二）互恵的な南北関係を発展させる（三）平和統一の基礎を構築する（韓聯社 2022p）。

ば制裁解除を申請して必要とする援助を行う意志があること、また北の放送とメディアの開放を検討していること、これらの過程の中で相互信頼を積み重ねていくと述べた（鄭墉洙 2022）。7月28日、金正恩は尹錫悦政権に対する初めての声明において、激しい言葉で韓米合同軍事演習と韓国の国防戦備引き上げを非難した⁸。8月5日、朴振は ASEAN 地域フォーラム（ARF）外相会議で、北朝鮮の安光日・駐 ASEAN 代表部大使と「ばったり会い」、その場で「大胆な計画」構想と南北間で無条件に対話する用意があることを伝達した。安光日は態度を保留し、一定の条件を作っこそ双方の対話が可能だと簡単に応じるにとどまった（KBS World 2022b）。

四 結論

北朝鮮は 2022 年 9 月 8 日に開いた最高人民会議で「核兵器使用の条件を緩和する」法案を通過させ、金正恩も演説の中で改めて「絶対に核を放棄しない」と述べ、核・ミサイル開発の意志を加速させる意志を明らかにした。韓国国家情報院の情勢判断では、北朝鮮は国内の新型コロナウイルスの状況と国際情勢の推移を評価した上で、中国で第 20 回共産党大会が始まる 10 月 16 日の後、またアメリカ中間選挙が行われる 11 月 7 日の前に 7 回目の核実験を実施し、北東アジア安全保障における緊張の度合いを大幅に引き上げる

⁸ 金正恩は 2022 年 7 月 27 日、朝鮮戦争「休戦協定」締結 69 周年記念活動に姿を現して講話を発表、尹錫悦政権がアメリカの戦略核兵器を多数配備し、様々な名目で軍事演習の規模を拡大する「先んじて北朝鮮を制する」軍事政策を行っていることを強く非難した。金正恩は、北朝鮮側には自衛権を行使する権利があり、韓国側が口実を設けて非道をなし、北の安全を脅かして軍事的緊張を高めるなら、相応の対価を払うことになる、北の絶対的な力（核抑止力）はすでに準備ができている、と警告した（Shin Mitch 2022）。

可能性があったとした（韓聯社 2022u）。様々な分野で米中間の利害衝突と戦略競争が日々拡大するに伴い、韓国にはあいまい戦術をとってどちらか片方の肩を持つことを避ける余地が大幅に減った。アメリカとしては韓国にはただちに「インド太平洋戦略」の中国に対抗する戦列に加わってほしいため、努めて「台湾海峡の平和と安定」「北朝鮮の非核化」という問題と結びつけ、米日韓の地域安全保障協力における中心的議題としている⁹。韓国の国家安全保障上の利益からいえば、アメリカとの同盟を基調としつつも、韓国は米中のぶつかり合いを横目に立場を調整しなければならない。韓日関係はアメリカが間に入って調整し、三ヶ国間の安全保障同盟を強化したことで雪解けの兆候がみられるが、再び友好的な関係に戻れるか否かの鍵は、双方が長らく続いてきた歴史・領土問題を棚上げできるかどうかにある。そのほか、南北朝鮮関係は不安定で、韓国の国内政局は変わりやすく、世論の起伏も激しい。加えて韓中関係においては THAAD 問題がもたらした相互不信と戦略上の疑念があり、韓国の対中関係改善の余地を狭めている。韓国は両国に対する曖昧な「リスク回避」を突破し、どちらか一つの陣営につくことを迫られるという袋小路の状況を深めている。

まず、韓国は QUAD 加入に慎重であるものの、アメリカが中国

⁹ 文在寅は 2021 年 5 月に訪米した際、バイデンとの首脳会談の共同声明で、「包容力があり、自由で開かれたインド太平洋地域、および QUAD の重要性を守ること」に努めると述べ、台湾海峡と南シナ海を初めて両国が関心を持つ地域安全保障の議題として挙げた。2022 年 5 月 21 日、米韓のバイデン・尹首脳会談後の共同声明では、両国は韓米の同盟関係をグローバルで全面的な戦略的同盟関係にまで引き上げ、「北朝鮮の完全な非核化の実現」が韓米共通の目標であることを確認したほか、台湾海峡の平和と安定を維持することの重要性を提起し、さらに踏み込んで台湾海峡の平和と安定がインド太平洋地域の安全と繁栄にとって「欠くべからざる要素 (essential element)」であると強調した。

牽制同盟の中心メンバーとして取り込もうとしているのに直面し、アメリカに同調するが反中ではないという立場を強調して戦略的なバランス喪失を避け、同時に台湾問題に過度に関わって中国の怒りに触れ、韓中関係の今後にダメージを与えることも避けている。韓中国交樹立 30 周年を迎えようとしていた時期、尹錫悦は習近平・中国国家主席の訪韓招請に努め、自らの訪中のチャンスもつかもうとしていた。9 月 16 日、中国で第 20 回党大会が開かれる前の時期を選んで韓中関係調整のため栗戰書が訪韓した際、尹錫悦政権は中国に向け、韓国が韓米同盟を強化し、この地域に関してアメリカが主導している提議に参加するのは、中国を念頭に置いたものではないと呼びかけた（德國之聲中文網 2022）。尹錫悦は 9 月 25 日、アメリカ副大統領ハリスと会談し、韓米関係は「軍事・経済・テクノロジーの同盟（economic and technology alliance）」であると改めて述べた（The White House 2022g）。同日「台湾有事」に関する質問を受け、尹錫悦は朝鮮半島と台湾はアメリカにとって非常に重要であると強調しながらも、台湾海峡の紛争に直面した際には、北朝鮮からの挑発に対応することを優先すると初めて述べた（The Korea Herald 2022）。

次に、尹錫悦政権は現段階では、対日関係調整により韓米日三ヶ国が協力する体制の構築を優先させている。もし韓日関係が順調に雪解けに向かえば、それはアメリカによるインド太平洋での中国を制止する連盟を安定させる重要な鍵になる。ただその後、北朝鮮の脅威を抑止し朝鮮半島の平和と安全に進めるかどうかに関しては、依然として試練に満ちている。今のところ韓国は米日と外相・国家安全担当閣僚レベルの三者対話を続けており、安全保障情勢の変化を見て「インド太平洋戦略」参加の度合いを高めているが、もし北朝鮮が再び核実験を行えば、韓中両国の関係が足枷となり、米中の

狭間で戦略上のバランスを微調整・再構築せざるを得なくなるだろう。例として、ペロシ米下院議長の訪韓に際して尹錫悦が休暇中であることを理由にハイレベルな対応を行わなかったこと、中国の王毅外相と会談する前に朴振が韓国の「一つの中国」の立場は変わっていないと述べたこと、その一方で台湾海峡の平和と安定は地域の安全保障と繁栄にとって欠かせないと強調したことが挙げられる。ただ韓国が米中の戦略競争の中で韓中関係をどのように定義し形作るか、また韓国が国家の安全に関する利益を計算する上で、もし THAAD の追加配備を行う意志があるなら、「三つのノー」に代わるどのような説明で中国側を刺激することを避けられるか、これらが将来の韓中関係のせめぎ合いがどうなっていくかのポイントである。

このほか、韓国はアメリカに安全保障とテクノロジーの分野で同盟関係を強化していくと改めて伝えてはいるが、それは韓中の経済協力を軽視するという意味ではない。ただ中国は THAAD 問題に関して「三つのノー」を態度で示すよう韓国に圧力をかけ続けてきており、またアメリカが準備している半導体同盟「Chip 4」に参加していることも問題になっているので、中国がいったん THAAD 問題を理由に経済的圧力をかけ、また北朝鮮が非理性的・突発的な軍事的措置に出た場合、韓中関係は新しい衝撃と試練に直面することとなる。尹錫悦の政策に対する満足度は低下してきており、「活躍外交」をバネに低迷を脱しようとした支持率は、上がるどころかかえって下がっている。現与党「国民の力」の国会勢力は 300 議席中 102 議席にすぎず、2 年後の総選挙を前にしたねじれ国会の政局の中で、尹錫悦政権は安全保障と経済発展関連の政策を推進するために妥協と協力を迫られるだろう。

最後に、文在寅政権は任期内に 3 回の文・金会談と 2 回のトラ

ンプ・金会談を周旋して漸進的な北朝鮮非核化を目指したが、成果をあげることはできなかった。尹錫悦は文在寅政権の「朝鮮半島平和プロセス」を「脆弱な平和」として批判し、断固とした強硬な立場で北朝鮮の安全保障上の脅威に対処していくと強調した。バイデンは就任後も北朝鮮問題を外交上の優先項目に入れておらず、北朝鮮は尹政権始動後 2022 年 10 月までの時点ですでに 11 回のミサイル発射を行っている。尹錫悦は韓米同盟の枠組みのもとでの軍事協力レベル引き上げを表明している。合同軍事演習の規模を従来に戻すことと国防戦備のレベルアップを通じ、北朝鮮が韓国に対して構成し得るあらゆる安全保障上の脅威を防止すると同時に、北京との戦略関連のコミュニケーションを強化して北の核問題を解決するとした。その一方で、尹錫悦は北の核問題を解決するための政策として、李明博時代の「非核開放・3000 ドル」に似た「大胆な計画」を掲げている。どちらも北朝鮮が核を放棄することを前提に経済援助を推進するというものである。しかし、金正恩はすでに複数回も核を放棄しないことを表明し、改めて韓米による軍事演習と国際社会による制裁のレベルダウンを対話の前提としている。尹錫悦政権が国際社会の中で「水も漏らさぬ」経済制裁を引き続き行っている状況、また北朝鮮によるミサイル発射の頻度が従来の記録を更新し最多となっている状況では、「相互信頼を基礎とした」状態のもと対話のパイプを再構築し「大胆な計画」を推進していくのは非常に難しいだろう。

(寄稿：2022 年 8 月 15 日、再審：2022 年 10 月 14 日、採用：2022 年 12 月 4 日)

翻訳：田中研也

尹錫悅政府的外交政策布局與 東北亞安全局勢展望

陳 蒿 堯

(中國文化大學韓國語文學系助理教授)

【摘要】

本文以尹錫悅政府提出的外交與安保議題走向，以及相關因應對策為本，梳理韓國應處美中戰略競爭態勢下的外交政策布局與朝鮮半島安全情勢的可能發展走向。尹錫悅外交政策主軸以深化韓美同盟，改善韓日關係，構建基於相互尊重的韓中關係為核心。

首先，韓國強化「韓美同盟」軍事合作，回應美國「印太戰略」經濟合作架構，使韓美關係更趨緊密。再者，尹錫悅基於北韓威脅升高，考慮追加部署薩德，並強調「三不」原則並非協議或承諾，使韓中關係受制薩德問題而難有所突破。此外，尹錫悅政府推動韓日領導人會談，尋求歷史問題在內的爭端解決。另一方面，韓國為防範北韓的安全威脅，以恢復韓美軍演與提高國防軍備，並提出透過對話提供人道和經濟保障，說服北韓進行無核化的「大膽計劃」。

關鍵字：尹錫悅總統、韓國外交政策、美國印太戰略、東北亞區域安全、美中戰略競爭

Yoon Suk Yeol Administration's Foreign Policy Layout and Prospect of Northeast Asia Security Situation

Hao-Yao Chen

Assistant Professor, Department of Korean Language and Literature,
Chinese Culture University

【Abstract】

This article is based on the trend of foreign affairs and security issues as well as relevant countermeasures proposed by the Korean President Yoon Suk-Yeol to analyze South Korea's foreign policy layout under U.S.-China strategic competition and also the possible development of security situation on the Korean Peninsula. The core of President Yoon Suk-Yeol foreign policy focuses on deepening alliance cooperation with the U.S., improving bilateral relations with Japan, and developing relations with China based on mutual respect.

First, South Korea strengthens military alliance cooperation and participates in the U.S. initiated Indo-Pacific Economic Framework (IPEF) to make South Korea-U.S. relations closer. Second, considering the rising threat from North Korea, the Yoon Suk-Yeol government considers promoting additional deployment of THAAD missile defense system and insists the past alleged agreement on the “three nos” over deployment of THAAD was not a “promise or agreement” by the Korean government, which as a result makes South Korea-China relations hard to have a breakthrough. Furthermore, Yoon Suk-Yeol's government push forward for South Korea-Japan leader summit to seek for the resolution of pending issues including historical disputes. In addition, to guard against security threats for North Korea, Yoon

Suk-Yeol government resumes joint military exercises with the U.S. and keeps on increasing defense armaments on one hand, while on the other hand, they offer “Audacious Initiative” for humanitarian and economic security through dialogue to persuade North Korea on denuclearization.

Keywords: President Yoon Suk-Yeol, Foreign Policy of South Korea, Indo-Pacific Strategy of the United States, Regional Security of Northeast Asia, U.S.-China Strategic Competition

〈参考文献〉

- 人民網、2022a 「中國駐韓國大使邢海明向韓國當選總統尹錫悅轉交習近平主席賀電」 3月11日、<http://korea.people.com.cn/BIG5/n1/2022/0311/c407366-32372847.html> (査閲時間：2022/3/12)。
- People. cn. 2022a. “Zhongguo zhu hanguo dashi xinghaiming xiang hanguo dangxuan zongtong yinxiyue zhuanjiao xijinping zhuxi hedian” [Chinese Ambassador to South Korea Xing Haiming Delivers a Congratulatory Letter from President Xi Jinping to South Korean President-elect Yun Seok-yeol]. March 11 (Accessed on March 12, 2022).
- 人民網、2022b 「習近平主席特別代表、國家副主席王岐山將出席韓國總統就職儀式」 5月7日、<http://politics.people.com.cn/BIG5/n1/2022/0507/c1001-32415999.html> (査閲時間：2022/5/9)。
- People. cn. 2022b. “Xijinping zhuxi tebie daibiao, guojia fu zhuxi wang qishan jiang chuxi hanguo zongtong jiuzhi yishi” [Vice President Wang Qishan, the Special Representative of President Xi Jinping, is to Attend the Inauguration Ceremony of the President of the Republic of Korea]. May 7 (Accessed on May 9, 2022).
- 中華人民共和國外交部、2017 「王毅同韓國外長康京和舉行會談」 11月22日、<https://reurl.cc/kEZv8K> (査閲時間：2022/8/2)。
- Ministry of Foreign Affairs, the People’s Republic of China. 2017. “Wangyi tong hanguo waizhang kangjing he juxing huitan” [Wang Yi Holds Talks with South Korean Foreign Minister Gang Gyeong-hwa]. November 22 (Accessed on August 2, 2022).
- 中華人民共和國外交部、2022 「2022年7月27日外交部發言人趙立堅主持例行記者會」 7月27日、https://www.fmprc.gov.cn/web/wjdt_674879/fyrbt_674889/202207/t20220727_10728801.shtml (査閲時間：2022/8/2)。
- Ministry of Foreign Affairs, the People’s Republic of China. 2022. “2022 nian 7 yue 27 ri wajiaobu fayanren zhaolijian zhuchi lixing jizhe hui” [Foreign Ministry Spokesperson Zhao Lijian’s Regular Press Conference on July 27, 2022]. July 27 (Accessed on August 2, 2022).
- 尹相虎、文炳基、2022 「“甘願美國本土承受攻擊、防衛韓國”……韓美將於9月舉行延伸威懾磋商機制」 『東亞日報』 8月1日、<https://www.donga.com/tw/home/article/all/20220801/3545776/1> (査閲時間：2022/8/1)。
- Yin, Xianghu, and Bingji Wen. 2022. ““Ganyuan meiguo bentu chengshou gongji, fangwei hanguo’han mei jiangyu 9 yue juxing yanshen weishe cuoshang jizhi” [“U.S. is Willing to Accept Military Attacks on Its Homeland in Order to Defend South Korea…”] South Korea and U.S. are to Hold Extended Deterrence Strategy and Consultation Group (EDSCG) Meeting in September]. *The Dong-A ILBO*. August 1 (Accessed on August 1, 2022).
- 尹成璿、南秀鉉、2022 「“限制中國人使用醫保、加強部署薩德” 尹錫悅強化牽制中國路線」 『韓國中央日報』 2月3日、<https://chinese.joins.com/news/articleView.html?idxno=104969> (査閲時間：2022/8/2)。
- Yin, Chengmin, and Xiuxuan Nan. 2022. ““Xianzhi zhongguoren shiyong yibao, jiaqiang

- bushu sade' yinxiyue qianghua qianzhi zhongguo luxian" ["Restricting Chinese People from Using Medical Insurance, and Enhancing THAAD Deployment," Yun Seok-yeol is to Reinforce His China-Containing Path]. *Korea JoongAng Daily*. February 3 (Accessed on August 2, 2022).
- 日經中文網、2022「韓國尹錫悅候任政府摸索參加 Quad 首腦會談」4月14日、<https://zh.cn.nikkei.com/politicaeconomy/politicasociety/48251-2022-04-14-10-14-03.html> (査閲時間：2022/4/16)。
- Nikkei. 2022. "Hanguo yinxiyue houren zhengfu mosuo canjia Quad shounao huitan" [South Korean Government-designated of Yun Seok-yeol Fumbles to Attend the Quad Summit]. April 14 (Accessed on April 16, 2022).
- 玄日勳、2021「專訪韓下屆總統候選人尹錫悅：“韓美同盟堅定不移時中日才會尊重韓國”」『韓國中央日報』7月15日、<http://chinese.join.com/news/articleView.html?idxno=102015> (査閲時間：2021/7/16)。
- Xuan, Rixun. 2021. "Zhuanfang han xiajie zongtong houxuanren yinxiyue: 'Han mei tongmeng jiating buyishi zhong ri caihui zunzhong hanguo'" [Interview with South Korean Presidential Candidate Yun Seok-yeol: "China and Japan will Respect South Korea Only When the Korea-U.S. Alliance is Unwavering"]. *Korea JoongAng Daily*. July 15 (Accessed on July 16, 2021).
- 申振宇、李尚勳、2022「(獨家)朴振：“希望《韓日軍事情報協定》盡快恢復正常”」『韓國東亞日報』6月15日、<https://www.donga.com/tw/article/all/20220615/3448321/1> (査閲時間：2022/6/16)。
- Shen, Zhenyu, and Shangxun Li. 2022. "(Dujia) Puzhen: 'Xiwang <han ri junshi qingbao xieding> jinkuai huifu zhengchang" [(EXCLUSIVE) Park Jin: "Hoping the 'Korea-Japan General Security of Military Information Agreement (GSOMIA)' will be Restored ASAP"]. *The Dong-A ILBO*. June 15 (Accessed on June 16, 2022).
- 朴玄英、鄭英教、2022「韓國情院長金奎顯秘密訪美 或聚焦朝核應對和經濟安全」『韓國中央日報』7月16日、<http://chinese.join.com/news/articleView.html?idxno=107205> (査閲時間：2022/7/18)。
- Pu, Xuanying, and Yingjiao Zheng. 2022. "Hanguo qingyuanzhang jinkuixian mimi fangmei huo jujiao chao he yingdui he jingji anquan" [Kim Kyou-hyun, Director of South Korean National Intelligence Service, Secretly Visited U.S. to Focus on Both North Korea Nuclear Problems Responding and Economic Security]. *Korea JoongAng Daily*. July 16 (Accessed on July 18, 2022).
- 邢海明、2021「駐韓大使邢海明就尹錫悅涉華言論反駁稱“中韓關係不是韓美關係的附屬品”」『韓國中央日報』7月16日、<https://chinese.join.com/news/articleView.html?idxno=102033> (査閲時間：2022/8/2)。
- Xing, Haiming. 2021. "Zhuhan dashi xinghaiming jiu yinxiyue she hua yanlun fanbo cheng "zhong han guanxi bushi han mei guanxi de fushupin" ["The China-Korean Relations are not the Accessories to the Korea-U.S. Relations," Xing Haiming, Chinese Ambassador to

- South Korea, Refutes Remarks Related to China Made by Yun Seok-yeol]. *Korea JoongAng Daily*. July 16 (Accessed on August 2, 2022).
- 金真明、2017「韓外交部：“三不”實為表態而非承諾」『朝鮮日報』11月3日、<https://cnnews.chosun.com/client/news/viw.asp?nNewsNumb=20171148687&cate=&mcate=> (査閲時間：2022/8/2)。
- Jin, Zhenming. 2017. “Han waijiaobu: ‘Sanbu’ shiwei biaotai er fei chengnuo” [Korean Ministry of Foreign Affairs: “Three Noes” is a Declaration Rather Than a Commitment]. *Chosun Ilbo*. November 3 (Accessed on August 2, 2022).
- 金榮培、2021「韓供應鏈因過度依賴中國中間材料而薄弱、如尿素等需特別關注的進口產品有 1088 項」『韓民族日報』11月19日、<http://china.hani.co.kr/arti/economy/10470.html> (査閲時間：2021/11/20)。
- Jin, Rongpei. 2021. “Han gongyinglian yin guodu yilai zhongguo zhongjian cailiao er boruo, ru niaosu deng xu tebie guanzhu de jinkou chanpin you 1088 xiang” [Dues to the Over-reliance on Chinese Intermediate Materials, South Korean Supply Chain is Weak. 1088 Imported Items Such as Urea, and so on, Need to Pay Attention to]. *Hankyoreh*. November 19 (Accessed on November 20, 2021).
- 金承炫、2022「樸振：“薩德正常運轉很重要”要慎重追加部署」『朝鮮日報』5月3日、<https://cnnews.chosun.com/client/news/viw.asp?nNewsNumb=20220557086&cate=C01&mcate=M1001> (査閲時間：2022/6/2)。
- Jin, Chengxuan. 2022. “Puzhen: ‘Sade zhengchang yunzhuo hen zhongyao’…yao shenzhong zhujia bushu” [Park Jin: “THAAD Works Normally Essential…” Additional Deployment Should be Done with Caution]. *Chosun Ilbo*. May 3 (Accessed on June 2, 2022).
- 金珍鎬、張襄如、2022「尹錫悅弔唁與韓日變局」『亞洲週刊』29期、<https://reurl.cc/2mrokm> (査閲時間：2022/8/2)。
- Jin, Zhenhao, and Xiangru Zhang. 2022. “Yinxiyue diaoyan yu han ri bianju” [Yun Seok-yeol’s Condolence and Changes in Korea-Japanese Relations]. *YazhouZhoukan*. No.29 (Accessed on August 2, 2022).
- 孫海容、金南俊、朴炯洙、鄭英教、2021「供應鏈危機下的韓國：“尿素荒”尚未緩解融雪氯化鈣也告急」『韓國中央日報』11月16日、<https://chinese.join.com/news/articleView.html?idxno=103708> (査閲時間：2021/11/20)。
- Sun, Hairong, Nanjun Jin, Jiongzu Pu, and Yingjiao Zheng. 2021. “Gongyinglian weijixia de hanguo: ‘Niaosu huang’ shangwei huanjie rongxue luhuagai ye gaoji” [South Korea in Supply Chain Crisis: Calcium Chloride Supply Becomes Urgent while “Urea Shortage” Has Not Been Solved]. *Korea JoongAng Daily*. November 16 (Accessed on November 20, 2021).
- 恩地洋介、2022「尹錫悅上台、韓國外交轉為重視日美」『日經中文網』5月11日、<https://zh.cn.nikkei.com/politicsaeconomy/politicsasociety/48521-2022-05-11-09-34-05.html> (査閲時間：2022/6/2)。

- Onchi, Yosuke. 2022. “Yinxiyue shangtai, hanguo waijiao zhuanwei zhongshi ri mei” [As Soon as Yun Seok-yeol Takes Office, South Korean Diplomacy Becomes pro-Japan and pro-U.S.]. *Nikkei*. May 11 (Accessed on June 2, 2022).
- 廖禹揚、2022 「尹錫悅談對岸田文雄印象：改善韓日關係夥伴」『中央社』6月29日、<https://www.cna.com.tw/news/aopl/202206290426.aspx> (查閱時間：2022/7/1)。
- Liao, Yuyang. 2022. “Yinxiyue tandui antianwenxiong yinxiang: Gaishan hanri guanxi huoban” [Yun Seok-yeol Talks about His Impression on Fumio Kishida: A Partner for Improving Korea-Japanese Relations]. *CNA*. June 29 (Accessed on July 1, 2022).
- 董鑫、2022 「國家副主席韓國之行的三個特別之處」『政知新媒體』5月7日、<https://www.163.com/dy/article/H6NO8141051482MP.html> (查閱時間：2022/6/8)。
- Dong, Xin. 2022. “Guojia fuzhuxi hanguo zhi xing de sange tebie zhi chu” [Three Specialties Related to Vice President’s Visit to South Korea]. *Zhengzhi xinmeiti*. May 7 (Accessed on June 8, 2022).
- 鄭墉洙、2022 「【獨家】韓統一部長談對朝政策構想：願為無核化與朝討論安全問題」『韓國中央日報』7月29日、<https://chinese.joins.com/news/articleView.html?idxno=107300> (查閱時間：2022/7/30)。
- Zheng, Yongzhu. 2022. “Dujia: Han tongyi buchang tandui chao zhengce gouxiang: Yuanwei wu hehua yu chao taolun anquan wenti” [(EXCLUSIVE) South Korean Unification Minister Talks about the North Korea Policy Conception: He is Willing to Discuss Security Issues with North Korea for Denuclearization]. *Korea JoongAng Daily*. July 29 (Accessed on July 30, 2022).
- 德國之聲中文網、2022 「中共中央“第三把手”訪問韓國」9月16日、<https://reurl.cc/7pGb7N> (查閱時間 2022/9/18)。
- DW Chinese. 2022. “Zhonggong zhongyang ‘di san bashou’ fangwen hanguo” [The “Third Leader” of the CPC Central Committee Visits South Korea]. September 16 (Accessed on September 18, 2022).
- 韓聯社、2021a 「文在寅不會在東京奧運期間訪日」7月19日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20210719005900881> (查閱時間：2022/7/30)。
- Yonhap News Agency. 2021a. “Wenzaiyin buhui zai dongjing aoyun qijian fangri” [Moon Jae-in Won’t Visit Japan During the Tokyo Olympics]. July 19 (Accessed on July 30, 2022).
- 韓聯社、2021b 「韓總統候選人尹錫悅會見中國駐韓大使邢海明」11月19日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20211119005200881> (查閱時間：2022/8/2)。
- Yonhap News Agency. 2021b. “Han zongtong houxuanren yinxiyue huijian zhongguo zhuhan dashi xinghaiming” [South Korean Presidential Candidate Yoon Seok-yeol Meets with Xing Haiming, Chinese Ambassador to South Korea]. November 19 (Accessed on August 2, 2022).
- 韓聯社、2022a 「韓候任總統尹錫悅將重塑四強外交基調」3月11日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220311005700881> (查閱時間：

2022/3/12)。

Yonhap News Agency. 2022a. “Han houren zongtong yinxiyue jiang chong susi qiang wajiao jidiao” [South Korean Presidential Candidate Yun Seok-yeol Will Reconstruct Diplomatic Keynotes to Four Great Powers]. March 11 (Accessed on March 12, 2022).

韓聯社、2022b 「南韓候任總統尹錫悅會見美國駐韓臨時代辦」3月11日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220311005200881> (查閱時間：2022/3/12)。

Yonhap News Agency. 2022b. “Nanhan houren zongtong yinxiyue huijian meiguo zhuhan linshi daiban” [South Korean Presidential Candidate Yun Seok-yeol Meets with American Chargé d’affaires to South Korea]. March 11 (Accessed on March 12, 2022).

韓聯社、2022c 「南韓候任總統尹錫悅與日本首相岸田文雄通電話」3月11日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220311003500881> (查閱時間：2022/3/14)。

Yonhap News Agency. 2022c. “Nanhan houren zongtong yinxiyue yu riben shouxiang antian wenxiong tong dianhua” [South Korean President-elect Yun Seok-yeol Speak with Japanese Prime Minister Fumio Kishida on the Phone]. March 11. (Accessed on March 14, 2022).

韓聯社、2022d 「中國駐韓大使：中韓能化解薩德所致民間隔閡」4月8日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220408001400881> (查閱時間：2022/4/10)。

Yonhap News Agency. 2022d. “Zhongguo zhuhan dashi: Zhong han neng huajie sade suo zhi minjian geai” [Chinese Ambassador to South Korea: China and South Korea can Resolve the Rift between People of Both Countries Caused by the THAAD Issue]. April 8 (Accessed on April 10, 2022).

韓聯社、2022e 「韓候任總統方面否認將出席四方安全對話峰會」4月14日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220414002900881> (查閱時間：2022/4/16)。

Yonhap News Agency. 2022e. “Han houren zongtong fangmian founen jiang chuxi sifang anquan duihua fenghui” [South Korean President-elect Yun Seok-yeol’s Office Denies the Attendance to the Quad Summit]. April 14 (Accessed on April 16, 2022).

韓聯社、2022f 「朝媒稱金正恩觀摩新型武器試射」4月17日、<https://cn.yna.co.kr/view/ACK20220417000400881?section=nk/index> (查閱時間：2022/4/18)。

Yonhap News Agency. 2022f. “Chaomei cheng jinzhengen guanmo xinxing wuqi shishe” [North Korean Media Says Kim Jong-un Watched the New Weapon Test]. April 17 (Accessed on April 18, 2022).

韓聯社、2022g 「南韓訪日團會晤日本首相岸田文雄」4月26日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220426004200881> (查閱時間：2022/4/28)。

Yonhap News Agency. 2022g. “Nanhan fangrituan huiwu riben shouxiang antian wenxiong” [South Korean Japan-visiting Delegations Meet with Japanese Prime Minister Fumio

Kishida]. April 26 (Accessed on April 28, 2022).

韓聯社、2022h 「南韓總統尹錫悅正式就職」 5 月 10 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/MYH20220510009400881> (査閲時間：2022/5/12)。

Yonhap News Agency. 2022h. “Nanhan zongtong yinxiyue zhengshi jiuzhi” [South Korean President Yoon Seok-yeol Officially Inaugurated]. May 10 (Accessed on May 12, 2022).

韓聯社、2022i 「尹錫悅首提印太經濟框架 其外交走向引關注」 5 月 16 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220516003900881> (査閲時間：2022/5/17)。

Yonhap News Agency. 2022i. “Yinxiyue shou ti yintai jingji kuangjia qi waijiao zouxiang yin guan Zhu” [Yun Seok-yeol Mentioned the Indo-Pacific Economic Framework (IPEF) for the First Time. His Diplomatic Trend Attracts Attention]. May 16. (Accessed on May 17, 2022).

韓聯社、2022j 「韓軍將參加環太軍演 規模創歷屆新高」 5 月 31 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220531002300881> (査閲時間：2022/6/2)。

Yonhap News Agency. 2022j. “Hanjun jiang canjia huantai junyan guimo chuang lijie xingao” [South Korean Forces Will Participate in Rim of the Pacific Exercise (RIMPAC). The Scale of this RIMPAC is the New Largest]. May 31 (Accessed on June 2, 2022).

韓聯社、2022k 「南韓防部擬新設防衛政策官取代對朝政策官」 『韓聯社』 6 月 8 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220609001000881> (査閲時間 2022/6/10)。

Yonhap News Agency. 2022k. “Nanhan fangbu ni xinshe fangwei zhengceguan qudai dui chao zhengceguan” [South Korean National Defense Ministry Plans to Appoint a New Defense Policy Officer to Replace the North Korea Policy Officer]. June 8 (Accessed on June 10, 2022).

韓聯社、2022l 「韓外長樸振結束訪美之行回國」 6 月 16 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220616006500881> (査閲時間：2022/6/17)。

Yonhap News Agency. 2022l. “Han waizhang puzhen jieshu fangmei zhi xing huiguo” [South Korean Foreign Affairs Minister Park Jin Concludes His Visit to the U.S.]. June 16 (Accessed on June 17, 2022).

韓聯社、2022m 「韓統一部長：正醞釀解決朝核問題的“大膽計劃”」 7 月 13 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220713004700881> (査閲時間：2022/7/15)。

Yonhap News Agency. 2022m. “Han tongyi buzhang: Zheng yunniang jie jue chao he wenti de ‘dadan jihua’” [South Korean Unification Minister: A “Bold Plan” is Preparing for Solving the North Korean Nuclear Issue]. July 13 (Accessed on July 15, 2022).

韓聯社、2022n 「韓外交部：視無核化進展推進對朝“大膽計劃”」 7 月 21 日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220721005200881> (査閲時間：2022/7/22)。

- Yonhap News Agency. 2022n. “Han waijiaobu: Shi wuhuehua jinzhan tuijin dui chao ‘dadan jihua’” [South Korean Ministry of Foreign Affairs: A “Bold Plan” Will be Launched, Depending on the Progress of North Korea Denuclearization]. July 21 (Accessed on July 22, 2022).
- 韓聯社、2022o 「南韓國防部向總統報告新政府國防政策」7月22日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220722003100881>（查閱時間：2022/7/24）。
- Yonhap News Agency. 2022o. “Nanhan guofangbu xiang zongtong baogao xin zhengfu guofang zhengce” [South Korean National Defense Ministry Reports to the President About the New Government’s Defense Policy]. July 22 (Accessed on July 24, 2022).
- 韓聯社、2022p 「韓統一部：正醞釀足令朝鮮安心棄核的計劃」7月22日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220722003500881>（查閱時間：2022/7/22）。
- Yonhap News Agency. 2022p. “Han tongyibu: Zheng yunniang zu ling chaoxian anxin qihe de jihua” [South Korean Unification Ministry: A Plan, That Will Make North Korea Feel Safe to Dismantle Its Nuclear Weapons, is Preparing]. July 22 (Accessed on July 22, 2022).
- 韓聯社、2022q 「韓外長出席國會問政會強調加強與中方溝通」7月25日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220725007000881>（查閱時間：2022/7/26）。
- Yonhap News Agency. 2022q. “Han waizhang chuxi guohui wenzhenghui qiangdiao jiaqiang yu zhongfang goutong” [Attending the National Assembly’s Politics Meeting, South Korean Foreign Minister Emphasizes He Will Strengthen Communication with China]. July 25 (Accessed on July 26, 2022).
- 韓聯社、2022r 「韓外交部回應中方繼續維持涉薩“三不”政策」7月28日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220728007900881>（查閱時間：2022/7/30）。
- Yonhap News Agency. 2022r. “Han waijiaobu huiying zhongfang yu weichi she sa ‘san bu’ zhengce” [South Korea’s Ministry of Foreign Affairs Responds to China’s Call to Maintain the “Three Noes” Policy Related to THAAD]. July 28 (Accessed on July 30, 2022).
- 韓聯社、2022s 「南韓外長樸振今將同中國外長王毅舉行會談」8月9日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220809000500881>（查閱時間：2022/8/11）。
- Yonhap News Agency. 2022s. “Nanhan waizhang puzhen jin jiang tong zhongguo waizhang wangyi juxing huitan” [Today South Korean Foreign Minister Park Jin is to Hold Talks with Chinese Foreign Affairs Minister Wang Yi]. August 9 (Accessed on August 11, 2022).
- 韓聯社、2022t 「尹錫悅接見中國人大常委會委員長栗戰書」9月16日、<https://cb.yna.co.kr/gate/big5/cn.yna.co.kr/view/ACK20220916006600881>（查閱時間：2022/9/17）。
- Yonhap News Agency. 2022t. “Yinxiyue jiejian zhongguo rendachangweihui weiyuanzhang

- lizhanshu” [Yun Seok-yeol Meets with Li Zhanshu, Chairman of the Standing Committee of the National People’s Congress]. September 16 (Accessed on September 17, 2022).
- 韓聯社、2022u 「韓情報機構稱朝鮮或在 10 月至 11 月間進行第七次核試」 9 月 28 日、<https://cn.yna.co.kr/view/ACK20220928005100881> (査閲時間 2022/9/29)。
- Yonhap News Agency. 2022u. “Han qingbao jigou cheng chaoxian huo zai 10 yue zhi 11 yuejian jinxing di qi ci he shi” [South Korean Intelligence Agency Says North Korea May Conduct the Seventh Nuclear Test between October and November]. September 28 (Accessed on September 29, 2022).
- Choe, Sang-Hun. 2021. “South Koreans Now Dislike China More Than They Dislike Japan.” *The New York Times*. August 20. <https://www.nytimes.com/2021/08/20/world/asia/korea-china-election-young-voters.html> (Accessed on April 5, 2022).
- Choi, David. 2022. “North Korea could feed, vaccinate its population on its missile budget, report says.” *Stars and Stripes*. June 9. https://www.stripes.com/theaters/asia_pacific/2022-06-09/north-korea-missiles-covid-19-vaccine-food-costs-6283779.html (Accessed on June 11, 2022).
- Choi, Hyun-june. 2022. “8 in 10 S. Koreans hold negative views of China, poll shows.” *The Hankyoreh*. July 1. https://english.hani.co.kr/arti/english_edition/e_national/1049338.html (Accessed on August 2, 2022).
- Japan Ministry of Defense. 2022. “United States-Japan-Republic of Korea Trilateral Ministerial Meeting (TMM) Joint Press Statement.” June 11. <https://www.mod.go.jp/en/article/2022/06/68757db918c63f25ebab1f72be3cf006ffc39909.html> (Accessed on June 15, 2022).
- Ji, Da-gyum. 2022a. “US dispatches Second Gentleman-led delegation for Yoon’s inauguration.” *The Korea Herald*. May 5. <https://m.koreaherald.com/view.php?ud=20220505000161> (Accessed on May 8, 2022).
- Ji, Da-gyum. 2022b. “[Shangri-La Dialogue] S.Korea intends to ‘normalize’ securitycooperation with Japan against N.Korean threats.” *The Korea Herald*. June 12. <https://www.koreaherald.com/view.php?ud=20220612000135> (Accessed on June 13, 2022).
- Jo, He-rim. 2022. “Olympic-sparked anti-Chinese sentiment rises as political issue.” *The Korea Herald*. February 9. <http://www.koreaherald.com/view.php?ud=20220209000801> (Accessed on August 2, 2022).
- Jung, Suk-yeec. 2021. “Korea Suffers Damage Worth KRW3.9tr Due to U.S.-China Trade Disputes.” *Business Korea*. October 12. <http://www.businesskorea.co.kr/news/articleView.html?idxno=78284> (Accessed on April 6, 2022).
- Kim, Heekin. 2022. “China Sees an Exodus of South Korean Giants as Relations Wane.” *The Bloomberg*. June 9. <https://www.bloomberg.com/news/articles/2022-06-08/china-sees-korean-giants-retreat-as-lockdowns-tension-bite#xj4y7vzkg> (Accessed on August 2, 2022).
- Kim, Heung-Kyu. 2022. “South Korea’s Strategic Dilemma Amid US-China Competition.” The Henry L. Stimson Center. February 28. <https://www.stimson.org/2022/south-koreas-strategic-dilemma-amid-us-china-competition/> (Accessed on August 2, 2022).

- Kim, Min Joo. 2022. "Interview with South Korea's next president, Yoon Suk-yeol." *Washington Post*. April 14. <https://www.washingtonpost.com/world/2022/04/14/south-korea-president-yoon-transcript/> (Accessed on June 24, 2022).
- Kim, Tong-Hyung. 2022. "US, S. Korean navies end key exercise amid N. Korea tension." *AP News*. June 4. <https://apnews.com/article/biden-south-korea-ronald-reagan-japan-north-d7ee4f61faeb432e1b1b4722af53605> (Accessed on July 6, 2022).
- KBS World. 2022a. "Park, Blinken Discuss N. Korea, Upcoming Summit in First Phone Talks." May 14. https://world.kbs.co.kr/service/news_view.htm?lang=e&Seq_Code=169658 (Accessed on August 6, 2022).
- KBS World. 2022b. "FM Park Introduces 'Audacious Plan' on N. Korea at ARF." August 6. https://world.kbs.co.kr/service/news_view.htm?lang=e&Seq_Code=171539 (Accessed on August 7, 2022).
- Kyodo News. 2022a. "Japan's Kishida hopes to improve ties with South Korea under Yoon." March 10. <https://english.kyodonews.net/news/2022/03/ca5af0c614f6-update1-japans-kishida-hopes-to-improve-ties-with-s-korea-under-yoon.html> (Accessed on March 12, 2022).
- Kyodo News. 2022b. "Japan, U.S. conduct fighter jet drill again amid N. Korea threat." June 7. <https://english.kyodonews.net/news/2022/06/c957e05adc0d-japan-us-conduct-fighter-jet-drill-again-amid-n-korea-threat.html> (Accessed on June 8, 2022).
- Lee, Haye-ah. 2022. "Presidential candidates clash over foreign policy, economic issues in 1st TV debate." *Yonhap News Agency*. February 3. <https://en.yna.co.kr/view/AEN20220203010100315> (Accessed on April 5, 2022).
- Lee, Jeong-Ho. 2022. "North Korea's Record Missile Flurry Cost as Much as \$650 Million." *Bloomberg News*. June 9. <https://www.bnnbloomberg.ca/north-korea-s-record-missile-flurry-cost-as-much-as-650-million-1.1776389> (Accessed on June 11, 2022).
- Lee, Jong-Sup. 2022. "Sixth Plenary Session: Common Challenges for Asia-Pacific and European Defense." 19th Regional Security Summit, the Shangri-La Dialogue. June 12. <https://www.iiss.org/-/media/files/shangri-la-dialogue/2022/transcripts/p6/as-delivered/lee-jongsup-minister-of-national-defense-republic-of-korea-as-delivered.pdf> (Accessed on June 22, 2022).
- Office of the United States Trade Representative. 2022. "Readout of Ambassador Katherine Tai's Informal Meeting with Indo-Pacific Economic Framework Partners." June 11. <https://ustr.gov/about-us/policy-offices/press-office/press-releases/2022/june/readout-ambassador-katherine-tai-informal-meeting-indo-pacific-economic-framework-partners> (Accessed on June 25, 2022).
- Park, Chan-kyong. 2021. "Risking China's wrath, South Korean presidential front runner Yoon Suk-yeol says more US Thaad missile deployments are possible." *The Week in Asia*. November 12. <https://www.scmp.com/week-asia/politics/article/3155903/risking-chinas-wrath-south-korean-presidential-front-runner-yoon> (Accessed on November 15, 2021).

- Shin, Hyonhee. 2022. "S.Korea presidential frontrunner seeks to 'reset' China ties with extra THAAD missile system." *Reuters*. February 23. <https://www.reuters.com/world/asia-pacific/skorea-presidential-frontrunner-seeks-reset-china-ties-with-extra-thaad-missile-2022-02-23/> (Accessed on February 25, 2022).
- Shin, Mitch. 2022. "Kim Jong Un Slams South Korean President's 'Suicidal' Military Moves." *The Diplomat*. July 28. <https://thediplomat.com/2022/07/kim-jong-un-slams-south-korean-presidents-military-moves/> (Accessed on June 30, 2022).
- The Defense Post. 2022. "US, South Korea Fly Warplanes After North's Missile Tests." June 7. <https://www.thedefensepost.com/2022/06/07/us-south-korea-warplanes/> (Accessed on June 10, 2022).
- The Korea Herald. 2022. "Yoon sees greater likelihood of N. Korean provocation in case of Taiwan conflict." *The Korea Herald*. September 26. <https://www.koreaherald.com/view.php?ud=20220926000233> (Accessed on October 1, 2022).
- The Korea Times. 2022. "US, S. Korea agree to expand military exercise, resume extended deterrence dialogue." July 31. https://www.koreatimes.co.kr/www/nation/2022/08/120_333621.html (Accessed on August 2, 2022).
- The White House. 2022a. "INDO-PACIFIC STRATEGY OF THE UNITED STATES." February 11. <https://www.whitehouse.gov/wp-content/uploads/2022/02/U.S.-Indo-Pacific-Strategy.pdf> (Accessed on June 25, 2022).
- The White House. 2022b. "Readout of Joseph R. Biden, Jr.'s Call with President-Elect Yoon Suk-yeol of the Republic of Korea." March 9. <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2022/03/09/readout-of-joseph-r-biden-jr-s-call-with-president-elect-yoon-suk-yeol-of-the-republic-of-korea/> (Accessed on June 28, 2022).
- The White House. 2022c. "FACT SHEET: In First Stop on Asia Travel, President Biden Tours Model for Samsung's New Texas Semiconductor Facility." May 20. <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2022/05/20/fact-sheet-in-first-stop-on-asia-travel-president-biden-tours-model-for-samsungs-new-texas-semiconductor-facility/> (Accessed on May 25, 2022).
- The White House. 2022d. "United States-Republic of Korea Leaders' Joint Statement." May 21. <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2022/05/21/united-states-republic-of-korea-leaders-joint-statement/> (Accessed on May 22, 2022).
- The White House. 2022e. "Remarks by President Biden on Hyundai's Investments in Savannah, Georgia." May 22. <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2022/05/22/remarks-by-president-biden-on-hyundais-investments-in-savannah-georgia/> (Accessed on May 25, 2022).
- The White House. 2022f. "Statement on Indo-Pacific Economic Framework for Prosperity." May 23. <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2022/05/23/statement-on-indo-pacific-economic-framework-for-prosperity/> (Accessed on May 25, 2022).

- The White House. 2022g. “Remarks by Vice President Harris and President Yoon Suk Yeol of the Republic of Korea Before Bilateral Meeting.” September 29. <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/speeches-remarks/2022/09/29/remarks-by-vice-president-harris-and-president-yoon-suk-yeol-of-the-republic-of-korea-before-bilateral-meeting/> (Accessed on October 2, 2022).
- The Yomiuri Shimbun. 2022. “More respondents in Japan, South Korea expect bilateral ties to improve: Survey.” June 10. <https://asianews.network/more-respondents-in-japan-south-korea-expect-bilateral-ties-to-improve-survey/> (Accessed on August 2, 2022).
- U.S. Department of State. 2016. “Joint Statement of the 2016 United States - Republic of Korea Foreign and Defense Ministers’ Meeting Share.” October 19. <https://2009-2017.state.gov/r/pa/prs/ps/2016/10/263340.htm> (Accessed on August 6, 2022).
- U.S. Department of State. 2017. “Joint Statement on the Extended Deterrence Strategy and Consultation Group.” September 5. <https://2017-2021.state.gov/joint-statement-on-the-extended-deterrence-strategy-and-consultation-group/index.html> (Accessed on August 6, 2022).
- Yeung, Jessie, Paula Hancocks, and Yoonjung Seo. 2022. “Exclusive: South Korea’s new leader says age of appeasing North Korea is over.” *Cable News Network*. May 28. <https://edition.cnn.com/2022/05/23/asia/south-korea-president-exclusive-intl-hnk/index.html> (Accessed on May 30, 2022).
- Yonhap News Agency. 2020. “S. Korea’s H1 exports to China fare relatively well despite pandemic.” November 13. <https://en.yna.co.kr/view/AEN20201103001600320?section=news> (Accessed on August 2, 2022).
- Yonhap News Agency. 2022. “Yoon agrees on importance of joint military exercises with U.S.: official.” April 11. <https://en.yna.co.kr/view/AEN20220411008600315> (Accessed on August 2, 2022).
- Yoon, Suk-yeol. 2022. “South Korea Needs to Step Up.” *Foreign Affairs*. February 8. <https://www.foreignaffairs.com/articles/south-korea/2022-02-08/south-korea-needs-step> (Accessed on December 9, 2022).